

アメリカの服飾における都市とメディアの影響

The Influence of Cities and Media in the American Clothing Life

太田 茜^{*1+}, 川久保 亮^{*2+}, 堀 麻衣子^{*3+}
Akane Ota^{*1+}, Ryo Kawakubo^{*2+}, and Maiko Hori^{*3+}

*1 日本女子大学大学院 東京都文京区目白台 2-8-1

Japan Women's University

2-8-1, Mejirodai, Bunkyo, Tokyo, Japan

*2 立教大学

Rikkyo University

*3 目白大学短期大学部

Mejiro University College

+服飾文化共同研究拠点、文化ファッション研究機構、文化女子大学

Joint Research Center for Fashion and Clothing Culture

Bunka Fashion Research Institute, Bunka Women's University

Abstract : The purpose of this study is research how cities and media influence in the American clothing life. We researched American magazines housed Bunka Gakuen Library. As a result, Bunka Gakuen Library has recent age American magazine, real materials often that the missing.

はじめに 本研究課題ではアメリカの服飾において、都市とメディアの関係がどのように影響を与えたかを、雑誌を主な資料として研究することを目的とする。これまでのアメリカの服飾研究は既製服についての研究が中心であり、その発生と発展については多くの先行研究がおこなわれているが、それ以前及びアメリカにおいて服飾がどのように捉えられているかはあまり分析されていない。また、雑誌に着目した研究は男性を読者とした総合誌か、現在もファッション誌として刊行されている *Vogue* やアメリカで最も古い婦人雑誌であり、サラ・ヘールが編集長を務めた *Godey's Ladies Book* といった特定の資料に注目した研究が殆どであり、ファッション誌や女性を読者とした雑誌を横断的に捉えた研究である点で成果が期待できる。また、衣服を手に入れ、着するという行動に焦点を当てる際に、元となる情報がどこにあり、どう発信されていて、それが実際の行動にどう影響していたかを考えるのは重要である。特にアメリカのように広大な国土を有する国の服飾史において、雑誌という情報メディアの源流となったものから、どのように流行が発信され、読者が受容していたかを探ることで現在の衣生活の原点を探ることができるといえる。

また、雑誌に書かれているのは主に都市の生活であり、それが読者に伝えられ、伝播していくことで流行がつくられていく過程を考察する。このようなメディアによる流行や風俗の形成は現

*1) m1053001oa@gr.jwu.ac.jp

在の衣生活のひとつの原型となっているという仮説のもとに考察を行う。

対象とする年代は 19 世紀後半から 20 世紀前半とした。

方法 今年度は短期間での調査になったため、文化女子大学所蔵の 19 世紀末から 20 世紀前半に刊行された雑誌を調査し、分類と服飾に関する記事の分析を行った。資料とする雑誌は婦人雑誌とし、その誌面からから実際の読者が着ていたと考えられる婦人服と、読者が選択・購入を行っていたであろう子ども服を中心に分析を行うことにした。また、メディア史のアプローチから都市とメディアの関係性と、個々の雑誌の読者がどのような人々であるかを考察し、実際のアメリカの服飾と衣生活について検討する。また、国内の他の図書館等に資料が収蔵されているかどうかを調査した。

さらに 3 月 12 日から 3 月 19 日までニューヨーク市立図書館の雑誌資料で国内に所蔵されていない雑誌資料や、とメトロポリタン美術館衣装部門、移民博物館等の実物資料を調査する予定である。

結果 文化学園図書館所蔵のアメリカで発行されていた雑誌は比較的年代の新しいものが多く、*Vogue* や *Harper's Bazar* も実物資料は抜けが多いことが分かった。また、国内のアメリカ研究が盛んな大学の図書館には若干婦人雑誌が資料として所蔵されているが、*Vogue*, *Harper's Bazar*, *Godey's Ladies Book*, *Ladies Home Journal* といった代表的な雑誌が重複して所蔵されている状態であり、アメリカで代表的なセブン・シスターズの他の雑誌は所蔵されていないのが現状である。

以下に各雑誌の特徴を述べる。

Vogue 現在はハイ・ファッション誌として発行されている雑誌。1892 年創刊で、もともとはニューヨーク社交界の情報誌として創刊された。読者は上流階級のみであり、掲載されている広告も高級なものばかりである。

Harper's Bazar 当時ハーパース社が発行していた絵入り新聞「ハーパース・ウィークリー」ファッション版として 1867 年に創刊された雑誌。誌面には社交界の記事も掲載され、読者層はやや上流の中産階級だと推測される。

Godey's Ladies Book アメリカで最初の婦人雑誌として 1830 年に創刊された雑誌。実用・教養・娯楽という三つの要素で婦人雑誌を構成し、以降発行される婦人雑誌の原型をつくったとも言われている。読者層は中産階級を中心とした幅広い女性である。

Ladies Home Journal アメリカの婦人雑誌として最多部数を誇っていた雑誌。1883 年創刊であり、読者層は幅広く、購読料も安く設定されている。セブン・シスターズのひとつ。